

## 社会福祉法人 太田福祉記念会 令和7年度事業計画

### 誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

### 令和7年度事業計画の概要

理念「誓いの言葉」を活動の基本に据え、地域住民から信頼される法人であり続けるための活動の焦点を「戦略的重点項目の三本の柱」として事業を展開する。

1. 職員の育成による質の高い介護サービスの提供
2. 地域福祉からのまちづくり参画
3. 計画的財務管理による健全経営の維持

「1」について、利用者の信頼に応える質の高い介護サービスを提供し続けるため、常に活力のある組織のもと、理念を理解して行動できる人材の育成を引き続き実施する。人事評価、給与制度、キャリアパス等とリンクする現行研修体制により組織マネジメントも習得させ、2040年問題下の介護サービスを考察できる幹部候補の育成を継続する。

「2」在宅介護への流れに沿い、太田福祉記念会は地域の一員として分野の垣根を超えた福祉の目で自らの地域を見つめ、地域の人々とともに地域の課題の発見や解決に継続的に取り組むものとする。日常生活を一変させたコロナ禍を経て、人々の暮らしや医療体制が変化したことに伴い、在宅介護の支援など地域の福祉ニーズも変化している可能性がある。これまでの児童学習支援活動や家族の介護疲れ軽減策の評価とあわせ、地域が求める家庭機能の補完支援活動を模索する。

「3」国の社会保障政策である介護サービス利用者負担や介護保険料の上昇は制度の限界に近づいているといわれる中、上記「1」と「2」を含め、法人のすべての活動は健全経営の堅持が前提となるものである。老朽化する施設設備の維持とICT（※1）の導入等による生産性の向上を図るため、新たな中期財務計画を活用し健全な経営を図る。

（※1）Information and Communication Technology の略。通信技術を使い情報を伝達し活用する技術のこと。

## [1] 令和7年度重点事業プラン

### 経営戦術基本方針

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

### ★ 「ICT等の活用による生産性の向上」

「地域貢献事業の企画・実施」

## 1. 生産性を高める業務効率化の推進【令和6～8年度・主担当：各施設長】

### (1) 事業所ごとに職員の負担軽減に資する方策を検討

- ①業務改善チームの立ち上げ等による課題の可視化、課題解決の計画作成
- ②「5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躰）」の推進と「3M（ムリ、ムダ、ムラ）削減」の基本的活動を徹底

### (2) 職員の負担軽減につながるICT機器の活用

- ①記録や書類の電子化及び一元管理による情報共有の効率化を推進
- ②見守りセンサーや介護記録の作成を効率化できるソフトウェア等導入の検討

## 2. きらきら人材育成事業（事業費 2,262 千円）【主担当：法人事務局】

### (1) 基本研修（事業費 792 千円）

- ①新採用職員ガイダンス（4月1日、対象者4名）
- ②新採用職員研修（3カ月間・6回、対象者8名）  
※専門の外部講師報酬 297 千円
- ③採用6年次職員研修（5カ月間、延10回、対象者6名程度を指名予定）  
※専門の外部講師報酬 495 千円

### (2) 外部専門研修等派遣（事業費 1,470 千円）

- ・年間目標：80講座 延120名 ※オンライン研修を含む

## 3. 太田福祉記念会地域貢献事業（事業費 60 千円）

### (1) 学習支援事業（事業費 30 千円）【主担当：玉川ホーム】

- ・生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援の継続 ※食材料費 30 千円

### (2) 地域密着支援事業（事業費 30 千円）【主担当：法人事務局】

- ・地域福祉の向上に貢献するための事業研究と地域ニーズの洗い出し、一人暮らし高齢者世帯の除雪支援の継続

★＝新規項目

## [2] 本部事業

### 1. 法人運営の安定化

#### (1) 情報が迅速に行き交う組織づくり

- ①管理職（園長、所長）候補者の専門研修派遣など計画的な育成を行う。
- ②中間管理職（副所長、主任、副主任等）の適正な配置と発令、任用を行う。

#### (2) 利用者に選ばれる介護施設になるためのブランディング

- ①各事業所の特色を、法人ホームページや広報誌等で効果的に外部へ PR する。
- ★ ②法人ホームページとパンフレットの刷新及び SNS（※2）発信を継続する。

（※2）Social networking service の略。インターネット上で交流できる仕組みのこと。

#### (3) 経費節減と公的助成制度の活用

- ①入札等の実施による経費節減（予算編成時の見積額に対して執行額 3%節減）
- ②消耗品や光熱費の適切な節減実施の促進
- ③マスクや消毒液等非常時用消耗品の計画的備蓄
- ④国・県・市等の助成制度による、積極的な補助金、交付金の導入

#### (4) 生産性向上

- ①地域密着型介護老人福祉施設（あたまホーム・6床）及び認知症対応型通所介護（太田玉川デイサービス・定員 12名）等の事業転換の可能性の研究を継続
- ②新介護保険システム導入（更新）による業務効率化と業務負担軽減策導入に向けた研究

#### (5) 中・長期事業計画（5年・10年）の研究

- ・法人理念の実現に向け、地域住民の生活に呼応した事業展開や既存事業の在り方を研究。

### 2. 有能人材の確保・育成

#### (1) 採用条件“技術の有無より人柄の良い人”の発掘

- ★ ①求職者のこころを掴む「自社の魅力（労働条件等）」の研究
- ②有能な人材を確保するための幅広い求人活動の継続
- ③プリセプターやリクルーターのリーダー育成と組織化の研究

#### (2) 人材と働き方の多様性（ダイバーシティ）の推進

- ①短時間勤務労働者や介護助手等の活用
- ②外国人介護人材や介護助手受け入れ制度、週休 3 日制導入の研究の研究

### [3] 特別養護老人ホーム

#### 1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

##### (1) 感染症対策事業（共通）

- ①当記念会「伝染性疾病等施設内感染防止対策要綱」に基づき、各種感染症から利用者と職員を守るため、協力医療機関と連携し各種ワクチン接種等の予防対策のほか、各種研修等を通して専門的知識のある職員の育成を継続する。
- ②緊急時介護サービス復旧計画（BCP）（※3）の発動を想定した職員配置シミュレーションの実施や備蓄品確保などの事前対策を継続する。

（※3）Business Continuity Plan の略。災害などの緊急時における企業の事業継続計画のこと。

##### (2) 科学的介護の活用（共通）

- ・厚生労働省の科学的介護データベース（通称 LIFE）の利用者毎の状態や機能回復訓練等に関するフィードバック（有効と評価された）情報を活用するなど、エビデンス（根拠）に基づいた介護サービスの研究を継続する。

##### (3) 看取り介護体制の充実・強化（共通）

- ・看取りに関する研修へ職員を派遣し看取り介護体制を充実させ、ご家族の精神的支援を継続する。

#### 2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	目標値（稼働率）		
玉川ホーム (定員：長期 170 名、短期 20 名)	長期	163.5 名/日 (96.1%)	従来型 144.5 名/日 ユニット型 19.0 名/日
	短期	17.0 名/日 (85.0%)	介護 17.0 名/日 介護予防 0.0 名/日
あたまホーム (定員：長期 94 名、短期 21 名) ※長期（ユニット型）6 名休止中	長期	90.9 名/日 (96.7%)	従来型 90.9 名/日 ユニット型 0.0 名/日
	短期	17.0 名/日 (80.9%)	介護 16.5 名/日 介護予防 0.5 名/日

##### (1) 稼働率の向上（共通）

- ・入所検討委員会を年 4 回以上開催し、空床期間の短縮を目指す。

##### ★(2) 「生産性向上委員会」の設置（共通）

- ・ケアの進め方の見直しや ICT 導入による業務改善を進めるための「生産性向上委員会」を設置し、職員の負担軽減を目指す。それにより、職員が働きやすく働きがいのある職場をつくり、職員の能力発揮、離職防止、採用の拡大につなげる。

### 3. 職員の育成

#### (1) 新採用職員教育の充実（共通）

- ・教育担当職員の育成とリーダーの養成（研修派遣：リーダー1名、職員1名）

#### (2) 内部研修会の充実（共通）

- ・太田総合病院及び郡山市（出前講座）、民間企業の協力を得た各種研修会の実施（口腔衛生、虐待防止は年2回。事故防止、感染症・食中毒予防は年1回開催。）

## [4] ケアハウス

### 1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	目標値（稼働率）	
グリーンライフ小磯 （定員：30名）	28.0名/日（93.3%）	1人部屋 26.0名/日 2人部屋 2.0名/日

#### (1) 新規入居者の確保及び施設のPR

- ・近隣の地域包括支援センターや医療機関の相談室等へのPR活動を継続（空室情報毎月提供）

### 2. 入居者の生活環境改善

- #### (1) 感染防止対策を継続しながら、全入居者が参加する「元気クラブ」を開催（毎週3回、身体機能低下予防及び認知症予防目的の運動器訓練等）

- #### (2) 入居者の希望を取り入れた行事や小グループでの活動を実施し、意欲の向上と精神面の安定を図る。

（ショッピング等外出機会を提供：年3回 ※一人あたり年2回）

## [5] 在宅の介護・支援サービス

### I. デイサービス

#### 1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

##### (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・感染防止対策を継続しながら、各種感染症から利用者と職員を守るため、送迎時の体温測定や消毒等を継続

(2) 自立支援と認知症進行防止（太田デイサービス）

- ・在宅生活を維持するための太極拳や音楽、動画を取り入れた上下肢運動のほか、記憶力維持を目的としたクイズ形式のレクリエーション実施により、認知機能低下を防止

(3) 自立支援を促す取り組み（太田玉川デイサービス）

- ・生活機能の維持向上につながる、上下肢や体幹の筋力、平衡感覚、感情を刺激するレクリエーション活動を毎日実施（実践効果を見える化し、毎月利用者と確認）

(4) 認知機能の低下防止（太田小磯デイサービス）

- ・湖南町の地域特性に着目したレクリエーション「回想法（※4）」用いた指先を多く使用する制作活動を行い、脳機能の活性化を目指す。

（※4）昔の懐かしい写真や音楽、昔使っていた馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合う一種の心理療法。認知症の方へのアプローチとしても有効とされている。

## 2. 収支バランスのとれた財務体制の確保

事業所名	目標値（稼働率）	
★ 太田デイサービスセンター （定員：1日18名）	17.3名/日（96.1%）	介護13.3名/日 総合事業4.0名/日
太田玉川デイサービスセンター （定員：1日25名）	24.0名/日（96.0%）	介護20.7名/日 総合事業3.3名/日
太田小磯デイサービスセンター （定員：1日18名）	17.3名/日（96.1%）	介護13.3名/日 総合事業4.0名/日

(1) 稼働率の確保（共通）

- ①契約者増（前年比3%増以上）や利用回数増の働きかけによる目標値の達成
- ②利用者ごとに開催されるサービス担当者会議等を通じた利用回数増の働きかけ

## II. ホームヘルプサービス

### 1. サービス水準の維持と健全な財務体制の維持

(1) 特別感染症対策事業（Ⅱ、Ⅲの事業共通）

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から利用者と職員を守るため、国の指針等に基づき、職員に健康管理を留意させたうえでサービスを提供

(2) 高齢者の生活支援ニーズに応じたサービス提供

- ・健康や病気などの不安を抱えた一人暮らしの高齢者が増加していることから、日々の健康状態確認など、顔と顔を合わせることで利用者が安心できるサービスを提供

事業所名	目標値（稼働率）	
太田訪問介護事業所	14.0名/日	介護 9.0名/日 総合事業 5.0名/日

### Ⅲ. 居宅介護支援サービス

#### 1. 健全な財務体制の維持と質の高いケアプラン作成

事業所名	目標値（稼働率）
太田指定居宅介護支援事業所	132名/月

##### (1) 質の高いケアプランの作成

- ・医療機関等と連携を図り、退院調整ルールが適切に実践され、安定した医療・福祉サービスが提供できるように計画を作成